



「with コロナ時代を支える社会貢献セミナー」2021



～新たな社会的孤立の現状と
「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現に向けて～

開催要項

社会福祉法人 中央共同募金会

◆趣旨

世界的なパンデミックのなか、企業においては新たな働き方を模索すると同時に、SDGsの浸透や、多様なステークホルダーからの要求、社員エンゲージメント（自社への信頼や愛着）を重要視する動向とも相まって、さらなる社会貢献が望まれています。

一方、コロナ禍において顕在化した社会課題のなかでも、特に「社会的孤立」の問題はより深刻化し多世代へ増幅して、新たな局面を迎えています。

共同募金会では、コロナ禍においても「人と人とのつながりを絶やさない」ことを念頭に、地域の福祉活動を途切れなく支援してきました。

本セミナーでは、助成先の活動事例から、新たな社会的孤立の実情を共有し、「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現のために、企業、活動団体、助成団体、それぞれの立場から、今必要とされる社会貢献活動について共に考え、今後の実践につなげます。

◆日時 2021年11月30日（火）14：00～16：30

◆参加方法 オンライン（zoom ウェビナー）

◆参加費 無料（通信費等は各自のご負担となります）

◆主な対象 企業の社会貢献担当者、従業員寄付者、個人寄付者、NPO等活動団体、助成団体、中間支援団体、その他社会貢献に関心のある方

◆定員 オンライン 300名（先着申込順）

◆主催 社会福祉法人 中央共同募金会

◆Web参加申込 <https://tayori.com/f/semi2021>



上記サイトから申込みない場合は、

①氏名②企業・団体名③部署④メールアドレス⑤電話番号 をご記入の上、
件名を「11/30 社会貢献セミナー参加申込（氏名）」として、
kikin@c.akaihane.or.jp まで メールでお知らせください。

◆申込締切 2021年11月25日（木）お早めにお申込みください。



◆プログラム（予定）

14：00～ 1.主催者挨拶（中央共同募金会）

14：05～ 2.基調講演（25分）

【テーマ】with コロナ時代の新たな社会的孤立と地域共生

【講師】原田正樹氏（日本福祉大学 社会福祉学部教授）

（プロフィール）日本社会事業大学大学院修了後、日本社会事業大学等を経て現職。日本地域福祉学会会長、日本福祉教育・ボランティア学習学会会長。厚労省地域共生社会実現本部「地域力強化検討会」座長、厚労省地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会委員等を務める。各地の地域福祉実践に関わる。中央共同募金会「企画・推進委員会」副委員長。

コミュニティソーシャルワーク、地域共生社会、福祉教育等に関する研究と実践を行ってこられた立場から、with コロナ時代の社会的課題と、課題を抱える人々を地域で支える取り組みや、多様な価値観の重要性等について、お話しいただきます。

14：30～ 2.助成事業に見るコロナ禍での社会課題と緊急支援活動(15分)

「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」中間報告ほか
～コロナ禍においても人と人とのつながりを絶やさないために～

【報告】社会福祉法人中央共同募金会

14：45～ 休憩（5分）

14：50～ 4. パネル・ディスカッション（事例報告、質疑応答含む）（1時間40分）

【テーマ】「with コロナ時代を支える社会貢献活動」

感染症拡大の経過に伴い、社会課題も変容し、支援ニーズも変化しています。

基調講演をふまえながら、支援活動の現場、企業の社会貢献、助成団体、それぞれの報告から見えてきた社会的孤立の実情を共有し、「with コロナ時代を支える社会貢献活動」について、共に考え、今後の実践へつなげていきます。

【コーディネーター】

金田晃一氏

（株式会社 NTT データ 総務部 サステナビリティ担当 シニア・スペシャリスト）

【コメンテーター】

原田正樹氏（日本福祉大学 社会福祉学部教授）

【パネリスト】（順不同）

<企業の社会貢献事例 2社>

with コロナ時代における社会貢献活動について、自社の取り組みを中心にお話しいただきます。

- ・世良和美氏（マツダ株式会社 総務部

地域リレーショングループ アシスタントマネージャー）

法人寄付のほか、お客様のアンケート協力と連動した寄付プログラムや、創立 100周年を記念したオフィシャルグッズの売上によるご寄付等、多様な取組みを実施されています。

- ・東郷琴子氏（パナソニック株式会社 オペレーショナルエクセレンス社

企業市民活動推進部 事業推進課 主幹）

中央共同募金会の従業員 WEB 募金箱を活用して、社内で「コロナ募金キャンペーン」を展開。従業員募金+マッチング法人寄付でご協力いただいているほか、活動報告会の開催や、従業員を対象に「災害ボランティア育成講座」等も実施されています。

<活動団体（赤い羽根のコロナ関連助成事業）の事例 2 団体>

コロナ禍での新たな「社会的孤立」での現状と支援活動について、「若者支援」「外国にルーツがある人の支援」の各取組みを報告いただきます。

- ・荒井佑介氏（NPO 法人サンカクシャ 代表理事）

孤立したり困窮状態にある若者たちへ、居場所や住まい、社会とつながる機会の提供、就労支援、自立支援等を行っています。地域や企業の参画も得て、人とのつながりを活かし、共に生きるコミュニティを目指しています。

- ・和田京子氏（NPO 法人伊賀の伝丸 代表理事）

外国ルーツの人を自立や公的支援につなぐために、居場所や食糧の提供、入院・受診の支援等を行うほか、各支援団体がより適切な相談や支援を行えるようアドバイスやケース会議等も行っています。言葉・文化・習慣などの違いを超えて、ともに住み良いまちづくりを目指しています。



★「赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」第2弾

<https://www.akaihane.or.jp/camp-covid19-2021/>

【問合せ先】

社会福祉法人 中央共同募金会（基金事業部 青柳・高村・小林）

TEL 03-3581-3846

メール kikin@c.akaihane.or.jp

Web サイト <https://www.akaihane.or.jp>

